



～世界遺産ハロン湾の水環境を守る国際協力～ ベトナム・ハイフォン市

作成：上下水道局海外事業課

発行日：令和2年10月15日



上下水道局海外事業課では、姉妹都市であるベトナム・ハイフォン市でJICA草の根技術協力事業※などを活用し、下水道分野で様々な活動を展開しています。

ハイフォン市は、世界遺産ハロン湾と近接する港湾都市ですが、急速な都市化に伴い、家庭や工場からの排水量が急増する一方、**下水処理場が整備されていない**ため、下水がそのまま、海や河川に放流されており、**水環境の悪化が深刻**です。

水環境の改善には、**下水道施設の普及と適切な維持管理**が不可欠です。そこで、下水道担当部門職員への技術支援(人材育成)が必要と判断し、本市は平成23年より技術協力を行っています。

本市との技術協力により、**下水管やポンプ場などの下水道施設の維持管理に関するマニュアル**が整備されました。その結果、故障が起きたときの対応など事細かな運用ができるようになり、ハイフォン市での下水道施設の運用能力は格段に向上しました。

河川の水質向上の中核となるのは、「**下水処理場**」です。ハイフォン市では平成23年から市内初の下水処理場(ビンニエン下水処理場)の整備が進められ、現在、稼働前の総合試運転を行っています。ビンニエン下水処理場は、標準活性汚泥法という、本市の下水処理場と同じ水処理方式を採用しています。この下水処理場が本格稼働すれば、ハイフォン市の水環境は大きく改善されます。



世界遺産ハロン湾
近年、水質汚染が課題となる



汚染されたハイフォン市の河川



ハイフォン市初となるビンニエン下水処理場



下水処理場試運転状況

新たに稼働する下水処理場を適切に運用するためには、「**下水処理場の適切な運転管理**」を指導する継続的な支援が必要です。

本市は、水環境の悪化・浸水被害といった課題を官民で克服してきた技術やノウハウを生かし、海外においても下水処理場の効率的な運転管理ができるように支援を続けています。



ハイフォンでの現地指導

※JICA 草の根技術協力事業とは、国際協力の意思のある日本の NGO、地方自治体、大学、民間企業等が、下記に掲げる3つの重要な視点を踏まえ、独立行政法人国際協力機構(JICA)から受託して実施する事業である。

- 日本の団体が主体的に行う、人を介した「技術協力」。
- 開発途上国の地域住民の生活改善・生計向上に役立つ事業。
- 日本の市民の国際協力への理解・参加を促す事業。